

## 東アジア文化交流使について

## 1. 目的・趣旨

平成26年11月に開催された第6回日中韓文化大臣会合において、日中韓3か国の文化交流を促進するために、日中韓各国が自国の芸術家・文化人等を「東アジア文化交流使」として一定期間派遣し、実演やワークショップ等を通じて自国の文化を広く紹介していくことを決定。

本事業を通じて相互の文化への理解を深化させるとともに、芸術家・文化人等のネットワークの形成・強化を図る。

## 2. 内容

- ・伝統文化から現代文化まで多様な分野の中堅・若手の芸術家・文化人等を、中国、韓国を中心とする東アジア諸国（1か国又は複数国）に派遣し、専門分野に関する実演、実技指導、講演、上映・展示、情報交換等の活動を実施する。
- ・派遣期間は原則として2週間程度とする。
- ・派遣者は1週間に2回以上の活動を行う。

## 【参考】過去の派遣実績

氏 名	プロフィール	活動国	活動内容
平成27年度			
楠木 早紀	競技かるた永世クイーン	中国	かるた・百人一首に関する指導やデモンストレーションを実施
やなぎ みわ	美術作家・舞台演出家	中国	現地アーティストと将来の共同制作に向けた情報交換・トークイベント等を実施
スズキ 拓朗	演出家・振付家・ダンサー	韓国	現地ダンサーとの共同制作・ワークショップを実施
平成26年度			
WASABI	新・純邦楽ユニット	中国	現地の演奏家とのセッションを含む、三味線、尺八、太鼓、箏による演奏会を実施
山田 うん	ダンサー	中国	公演、現地舞踊団等とのワークショップ・共同制作を実施
柴 幸男	劇作家・演出家	中国	現地劇団等とのワークショップ・共同制作を実施
多田 淳之介	演出家	韓国	現地劇団等とのワークショップ・共同制作を実施
池田 卓	音楽家	韓国	三線（沖縄の伝統楽器）の演奏や琉球舞踊を交えた演奏会を実施

## 3. 指名手続

東アジア文化交流使は、独立行政法人国際交流基金や文化交流使事業委員会（※）の助言を受け、文化庁長官によって指名される。

※「文化交流使事業委員会」は、文化交流使事業の適正・効率的な執行を担保するため、文化庁長官の下に置かれる委員会で、関係行政機関、学識経験者等から構成される。